

議会改革をプレイバック！ — 市民とともに歩む開かれた議会へ —



市民参加 請願・陳情の手続きを簡素化・趣旨説明が可能に（9月）

市民等からの意見・要望である請願と陳情に署名がある場合の押印の省略、委員会審査前の趣旨説明が可能になりました。

平成24年
(2012年)

議会基本条例を制定（3月）

市民とともに歩む開かれた議会の実現に向け、議会が目指すべき方向性や理念を定めました。

平成25年
(2013年)

情報発信

委員会の会議録を公開（2月）

本会議の会議録に加え、委員会の会議録もホームページで閲覧が可能に。



市民参加

市民と議会の意見交換会を開催（5月）



予算審査の報告と、議会活動についての意見交換の場として、毎年1回開催しています。

情報発信

本会議のインターネット動画配信を開始（8月）

本会議のライブ中継と録画映像の配信をスタートしました。



議会機能

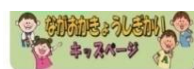
議員定数を24名に（5月）

議会運営委員会では結論がでず、議員提出議案が賛成多数で可決、26名から24名となりました。

情報発信

議会ホームページにキッズページを開設（12月）

図やクイズで議会のしくみを楽しくわかりやすく解説しています。



平成26年
(2014年)

市民参加

手話通訳の対応が可能に（4月）

事前予約により本会議や委員会が手話通訳で傍聴できるようになりました。



議会機能

所管事務調査をスタート（12月）

常任委員会の所管に関し課題となっているテーマを設定し、調査研究を行っています。

研究テーマ

所管事務調査（令和8年3月現在）

- ▶総務産業常任委員会
 - … 農業振興について
- ▶建設水道常任委員会
 - … 地域交通の維持について・上下水道DXの推進について
- ▶文教厚生常任委員会
 - … 児童・生徒の居場所づくりについて・ごみの減量と適正処理について

平成28年
(2016年)

議会機能

議員政策研究会を設置（9月）

市議会として政策立案機能を向上させるため設置し、主体的な調査研究をスタートしました。



情報発信

政務活動費の領収書・報告書を公開（11月）

使途の透明性を確保するため、収支報告書に加え、領収書等の写しと調査研究報告書を公開することとしました。



平成29年
(2017年)

議会機能

災害時議会対応指針を策定（3月）

災害時に、市議会及び議員がどのように対応すべきか共通認識を持つため、指針を策定しました。



平成30年
(2018年)

議会機能

議会パブリックコメント実施要綱を策定（6月）

議会として、市民の多様な意見を把握するため議会パブリックコメントの実施要綱を策定しました。

市民参加

主権者教育の出前授業を開催（7月）

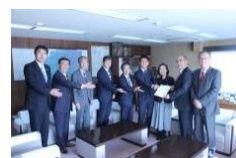
市議会への理解を深めてもらうとともに、市政について、高校生と意見を交わしました。



議会機能

委員会提出条例を制定（12月）

委員会から「長岡京市安全で快適な自転車の利用の促進に関する条例」を提出し、全会一致で可決・制定しました。



令和元年
(2019年)

情報発信

Facebook ページの開設（10月）

議会の活動や情報などを身近なものとして発信し、市民に開かれた議会を目指し、開設しました。



裏面へ



議会改革をプレイバック！

— 市民とともに歩む開かれた議会へ —

議会機能

性の多様性社会の実現に向けた提言を作成（9月）

性の多様性への理解を深めるため、議員政策研究会から市長や教育長へ提言を行いました。また、同性婚の法制化に関する議論の促進を求める意見書が提案され、全会一致で可決しました。



令和2年
(2020年)

情報発信

本会議の録画配信速報版の配信開始（6月）

長岡京市議会インターネット中継



本会議の約3日後に、録画映像を速報版として配信をスタートしました。なお、確報版は会期1週間後に配信しています。

令和3年
(2021年)

議会機能

議員定数を22名に（6月）

議会運営委員会では結論がでず、議員提出議案が賛成多数で可決。10月の一般選挙から議員定数が24名から22名となりました。

議会機能

議会改革特別委員会を設置（11月）

議会改革にかかる調査研究を目的として、設置されました。議会の課題について、調査研究しています。

令和4年
(2022年)

情報発信

インターネット中継サイトのリニューアル（11月）



パソコン・スマホなどを問わず、市議会で配信している平成25年第4回定例会以降の動画をご覧いただけるようになりました。

議会機能

新庁舎（1期）完成に伴い、新議場へ移転（2月）

新庁舎（1期）完成に伴い、議場の傍聴席入口にはスロープが作られ、バリアフリーに配慮した設計となっています。また、5階E Vホールにサイネージを設置し、会議日程などをお知らせしています。

令和5年
(2023年)

情報発信

委員会のインターネット動画配信を開始（12月）

委員会のライブ中継と録画映像の配信をスタートしました。

議会機能

議案や委員会資料等のペーパーレス化（6月）

議員へのタブレット端末の貸与や、データ資料と紙資料の併用など、議会ICT化を段階的に行ってきましたが、令和6年6月議会から、議案書等をペーパーレス化しました。（傍聴者には、紙の資料を閲覧いただけます。）

令和6年
(2024年)

議会機能

反問権の導入（3月）

本会議、委員会などにおいて、議員の質問や質疑の論点を明確にするために、市長等が議員に聞き返すことができる権利「反問権」を導入するため、長岡京市議会基本条例を改正しました。

議会機能

議員政策研究会こどもの遊び場のあり方研究分科会を立ち上げ（12月）

議員政策研究会の新たな分科会「こどもの遊び場のあり方研究分科会」を立ち上げ、調査・研究を進めています。

令和7年
(2025年)

議会機能

一問一答方式の本格導入（6月）

本会議の一般質問において、議論を分かりやすく、かつ深めるための新たな手法として、議員の質問と理事者の答弁が交互に行われる一問一答方式が導入されました。従来の一括方式との選択制で実施されます。

令和8年
(2026年)

今後もさらなる議会改革に取り組んでいきます！